

第一號

第 號

蠶種製造免許證

住所 氏名(名稱)

蠶絲業法第五條ニ依リ蠶種製造者タルコトヲ免許ス

年月日

道府縣印

紙 縱六寸 橫八寸

第二號

業種 住所 氏名(名稱)

蠶兒飼育場所、蠶種製造場所又ハ生繭取扱場所

木札 縱一尺五寸以上 橫四寸以上 厚四分以上

第三號

飼育又ハ製造場所 蠶種製造者 氏名(名稱)

蠶病消毒濟證

年月日

蠶業取縮所印

紙 縱四寸 橫二寸

第四號

特別蠶種ノ紙臺ノ表面

[上以五]

性化	性化	性化	性化	性化	性化	性化	性化
(藏冷)	(藏冷)	(藏冷)	(藏冷)	(藏冷)	(藏冷)	(藏冷)	(藏冷)
別趣年ノ	別趣年ノ	別趣年ノ	別趣年ノ	別趣年ノ	別趣年ノ	別趣年ノ	別趣年ノ
稱名	稱名	稱名	稱名	稱名	稱名	稱名	稱名
住所	住所	住所	住所	住所	住所	住所	住所
氏名(名稱)	氏名(名稱)	氏名(名稱)	氏名(名稱)	氏名(名稱)	氏名(名稱)	氏名(名稱)	氏名(名稱)
製造場所	製造場所	製造場所	製造場所	製造場所	製造場所	製造場所	製造場所
記號、番號	記號、番號	記號、番號	記號、番號	記號、番號	記號、番號	記號、番號	記號、番號
產卵月日	產卵月日	產卵月日	產卵月日	產卵月日	產卵月日	產卵月日	產卵月日

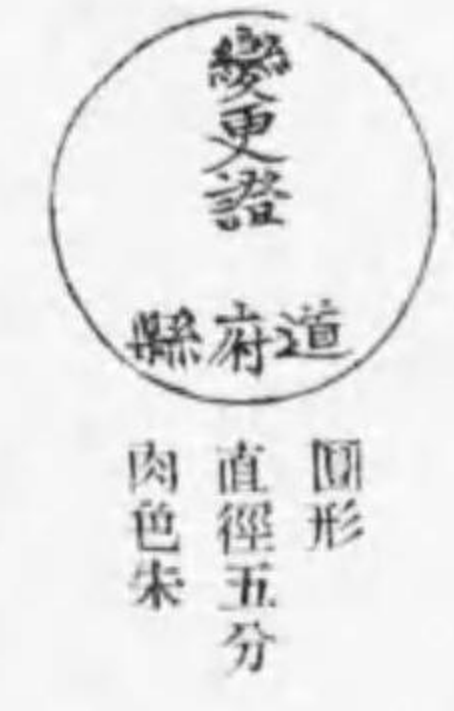
五寸

第五號

面裏ノ紙臺ノ種蠶通普

性化 (藏冷)	住 氏 製 造 場 所	產 卵 日
別越 年不	名 稱 (名稱)	產 卵 月
稱名	氏 名 (名稱)	產 卵 日

第六號



第七號

種繭證明書

第(記號) 住 所

蠶種製造者 氏 名(名稱)

飼育ノ場所

原蠶種ノ製造場所

比性ノ及化期

名稱ノ種類

一 原蠶種ノ製造場所

二 比性ノ及化期

三 名稱ノ種類

四 飼育ノ場所

五 原蠶種ノ製造場所

六 比性ノ及化期

七 名稱ノ種類

八 飼育ノ場所

右極繭検査ニ合格者タルコトヲ證ス

年 月 日

道府縣蠶業取締所印

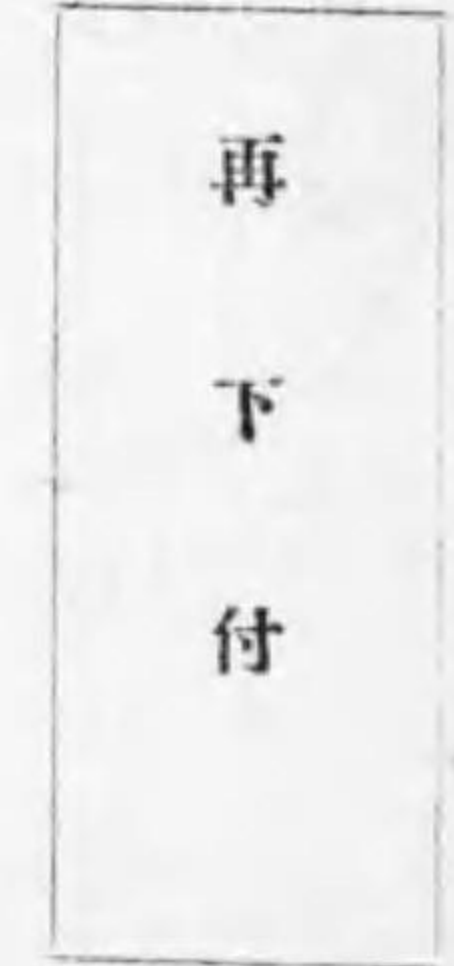
蠶業取締官 吏(吏員)印

第八號



橢圓形
長徑一寸
短徑八分
肉色黑

第九號



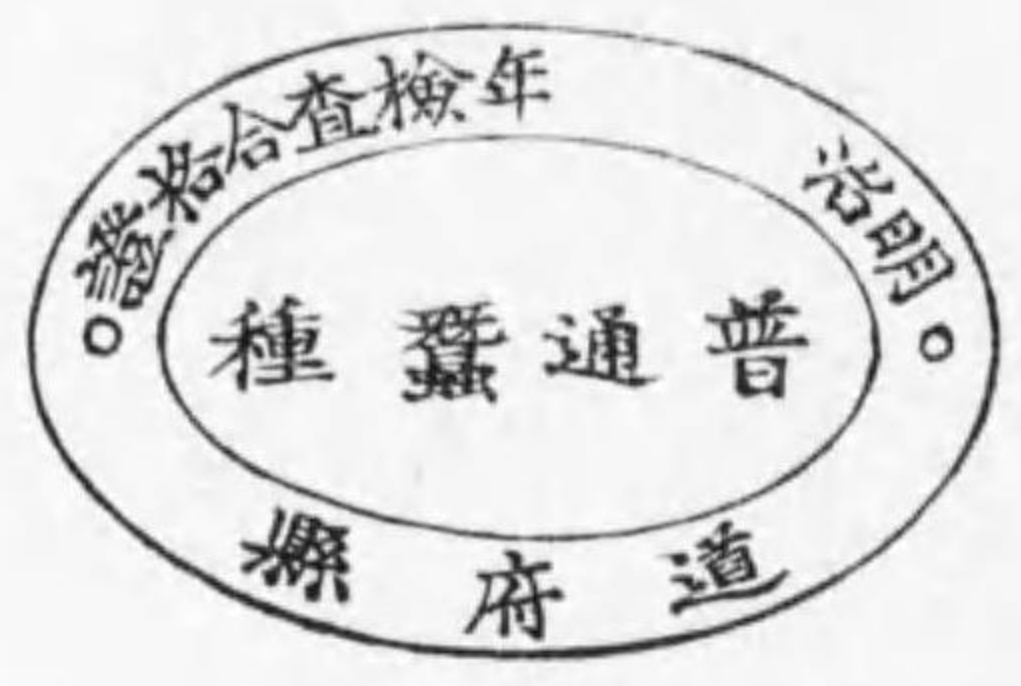
長方形
縱一寸二分
橫五分
肉色朱

第十號



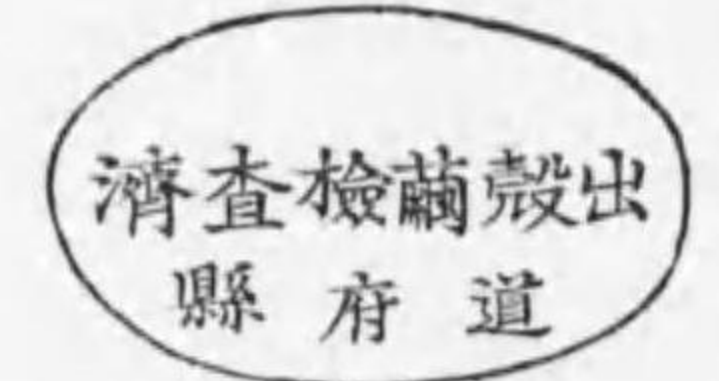
圓形
直徑七分
肉色朱

第十一條



橢圓形
長徑一寸五分
短徑一寸
肉色朱

第二十號



橢圓形
長徑一寸
短徑六分
肉色黑

第三十號 第四十號

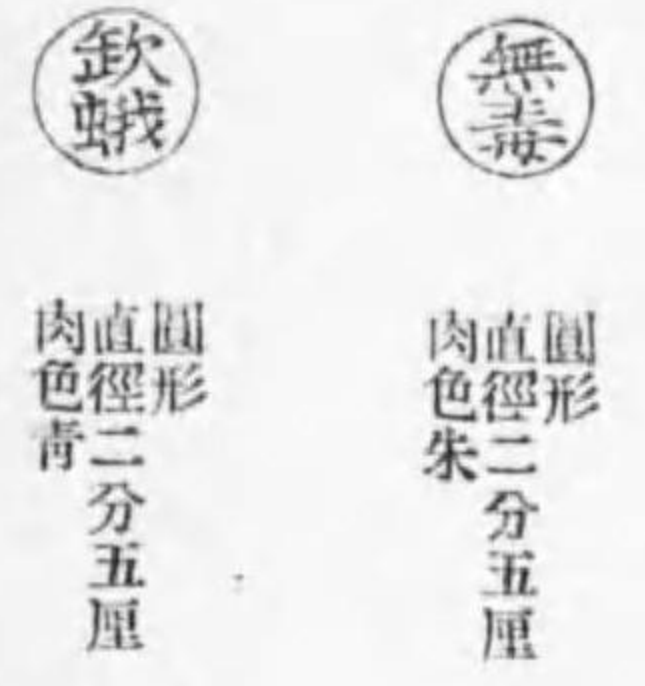


長方形
縱三分
橫二分
肉色黑



長方形
縱一寸五分
橫五分
肉色黑

第五十號 第六十號



圓形
直徑二分五厘
肉色朱

圓形
直徑二分五厘
肉色青

蠶絲業法並關係法規 蠶絲業法施行規則

第七十號



圓形
長徑一寸五分
肉色朱

第 二 十 二 號

蠶種冷蔵免許證

第 號

住 所

氏 名 (名稱)

蠶絲業法第二十一條ニ
依リ 蠶種冷蔵業ヲ 免許
ス

年 月 日

道 府 縣 印

紙 縱六寸 橫八寸

◎蠶絲業法並關係法規

蠶絲業法施行規則

第 二 十 七 號

蠶種行商者(生繭賣)之證

第 號

住 所

業 種 氏 名

生 年 月 日

厚 紙 三 寸
縱 二 寸
橫 二 寸

面 裏 面 表

縣道印

三十三

第 八 十 號 第 九 十 號 第 十 二 號

第 二 十 三 號



橢圓形 長一寸五分 短一寸 肉色朱 外線ノ太 外線ヲ細クス

消

圓形 直徑二分五厘 肉色朱

消

印

長方形 長一寸 寬五分 肉色黑

繼印

橢圓形 長三分 短二分 肉色朱

第 二 十 四 號



圓形 直徑一寸五分 肉色青 外線ノ二 外線ヲ太 外線ヲ細クス

第 二 十 五 號



圓形 直徑一寸五分 肉色青 外線ノ二 外線ヲ太 外線ヲ細クス

◎蠶絲業法並關係法規

蠶絲業法施行規則

第 二 十 一 號



圓形 直徑一寸五分 肉色朱

第 二 十 二 號



圓形 直徑一寸五分 肉色朱

三十二

第二十八號

裏面 第 號 縣道府印 業住 種氏所 右從業者 氏 生年月日 名 名	厚紙 縱三寸 橫二寸	表面 蠶種行商者(生繭買者)從業者之證 年 月 日
--	------------------	---------------------------------

第二十九號

裏面 官職氏 名	厚紙 縱三寸 橫一寸八分	表面 第 號 蠶業取締官吏(吏員)證票 年 月 日 縣道府印
----------------	--------------------	--

第三十號

明治		年成績表		府道縣、學校、講習所、試驗場等ノ名稱	
性	化	稱	名	蛾	掃立
期	化	數	立	蟻	掃立
		量	立	種	收
		種	繭	其他	繭
		計	額	計	額
		合格	蠶種製造額	其他	額
		計		計	

蠶絲業法施行手續

明治四十四年十二月二十八日
静岡縣令 第一百一號

第一條 蠶業取締所、其ノ支所及出張所ノ名稱、位置、管轄、區域ハ左ノ通之ヲ定ム
但シ出張所ハ隨時之ヲ開閉シ其ノ開閉期日ハ其ノ都度之ヲ告示ス

名稱	位置	管轄區域
静岡縣蠶業取締所	静岡縣廳內	1
静岡縣蠶業取締所 下田支所	賀茂郡下田町	賀茂郡壹圓
沼津支所	駿東郡大岡村	田方、駿東、富士三郡壹圓
静岡支所	静岡市	庵原、安倍、志太、榛原四郡及静岡市壹圓
見付支所	磐田郡見付町	小笠、周智、磐田三郡壹圓
濱松支所	濱松市	濱名、引佐二郡及濱松市壹圓
沼津支所 三島出張所	田方郡三島町	田方郡ノ内 西豆村、土肥村、戸田村、西浦村、内浦村ヲ除キ外壹圓
同	磐田郡笠西村	磐田郡ノ内 袋井町、久努村、田原村、笠西村、上淺羽村、 周智郡ノ内 森町、一宮村、園田村、飯田村、宇刈村、山梨町、天 方村、大居村、久努西村、氣多村、熊切村、三倉村、 小笠郡壹圓
見付支所 袋井出張所	同	同

同	周智郡奥山村	周智郡ノ内 奥山村、城西村、 磐田郡ノ内 佐久間村、浦川村、山香村、龍山村、
同	濱名郡吉津村	濱名郡ノ内 知波田村、入出村、新所村、吉津村、新居町、 引佐郡ノ内 西濱名村、東濱名村、
同	濱名郡白須賀町	濱名郡白須賀町

第二條 蠶絲業法施行規則第二條ノ免許願書ヲ差出サムトスル者ハ一月十五日迄ニ様式第一號ニ依リ之ヲ

知事ニ差出スヘシ

第三條 蠶絲業法施行規則第五條ノ届書ハ毎年二月末日迄ニ様式第二號ニ依リ之ヲ知事ニ差出スヘシ

第四條 蠶絲業法施行規則第七條ノ届書ハ様式第三號ニ依リ生繭取扱ノ場所ヲ豫定シ得ヘキモノニ在リテ

ハ毎年四月十五日迄ニ之ヲ豫定シ得ヘカフサルモノニ在リテハ生繭取扱開始五日前迄ニ之ヲ知事ニ差出スヘシ

第五條 蠶絲業法施行規則第九條ノ許可願書ハ相續人及被相續連署ノ上戸籍謄本ヲ添付シテ之ヲ知事ニ差

出スヘシ

被相續人死亡ノ場合ニ於テハ相續人前項ノ手續ヲ爲スヘシ

第六條 蠶絲業法施行規則第十九條ニ依ル蠶室及蠶具ノ消毒ハ蠶兒ノ飼育又ハ蠶種ノ製造前毎ニ之ヲ行ヒ

様式第四號ニ依リ其ノ施行期日二十日前迄ニ之ヲ知事ニ届出ツヘシ

知事ハ前項ニ依リ届出タル施行期日ノ變更ヲ命スルコトアルヘシ

第七條 蠶絲業法施行規則第二十條ノ掃立届ハ様式第五號ニ依リ之ヲ知事ニ差出スヘシ

第八條 蠶種製造者ハ原蠶種ノ化性、名稱、製造者、製造場所又ハ其ノ原蠶種ヨリ差出シタル蠶兒ノ掃立

時期、飼育場所ノ異ナルモノ毎ニ平假名ニ依ル記號ヲ付シ之ヲ前條ノ届書中ニ記載スヘシ

第九條 蠶絲業法施行規則第二十一條第一項ノ蠶兒讓渡許可申請書ハ様式第六號ニ依ルヘシ

蠶兒讓渡證明書及蠶兒讓受證明書ハ様式第七號ニ依ル

第十條 蠶種製造者蠶絲業法施行規則第二十四條第一項但書ニ依リ蠶種ノ臺紙ニ記載シタル文字ノ訂正増加又ハ抹消ノ承認ヲ受ケムトスルトキハ其ノ蠶種ヲ當該官吏員ニ、許可ヲ受ケムトスルトキハ様式第八號臺紙記載事項許可願ニ其ノ蠶種ヲ添付シ之ヲ知事ニ差出スヘシ

第十一條 蠶種製造者蠶種製造用蠶兒ノ上簇終リタルトキハ其ノ都度様式第九號上簇届ヲ遲滞ナク所轄蠶業取締所支所又ハ出張所ニ差出スヘシ

第十二條 蠶種製造者ハ蠶種製造用蠶兒ノ上簇後一化性ニ在リテハ十日以内ニ、二化性及多化性ニ在リテハ八日以内ニ繭ヲ選別シ様式第十號收繭調書ニ通テ調製シ其ノ一通ヲ所轄蠶業取締所支所又ハ出張所ニ差出シ他ノ一通ヲ保管スヘシ

第十三條 特別蠶種ニ附スヘキ記載ハ其ノ蠶種ノ製造ニ供用シタル繭ニ對スル種繭證明書ノ記載ヲ用非母蛾及其ノ産卵區ニ附スヘキ符號ハ數字ヲ用ユヘシ

第十四條 蠶絲業法施行規則第二十九條及第三十一條ニ依ル卵ノ顯微鏡検査ヲ行フ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ蠶種製造者ニ通知ス

第十五條 不越年特別蠶種ノ卵ト出殻繭ノ對照検査ハ蠶種製造場所ニ於テ之ヲ行フ

第十六條 蠶絲業法施行規則第三十七條但書ニ依ル許可ヲ得ントスル者ハ様式第十一號搬出許可願ヲ知事ニ差出スベシ

第十七條 蠶種製造者化性又ハ名稱ノ異ナル蠶蛾ヲ以テ掛合蠶種ヲ製造セムトスルトキハ知事ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ其ノ蠶兒ノ第四眠以前ニ様式第十四號蠶種化性(名稱)變更願ヲ知事ニ差出スヘシ

第十八條 蠶絲業法施行規則第四十一條第一項ニ依リ蠶種ノ臺紙ニ記載スヘキ化性又ハ名性ヲ變更セムトスル者ハ其ノ蠶兒ノ第四眠以前ニ様式第十四號蠶種化性(名稱)變更願ヲ知事ニ差出スヘシ

第十九條 蠶絲業法施行規則第四十三條第一項及第四十四條第一項ニ依リ種繭證明書ノ再下付又ハ書換、下付ヲ請求セムトスルトキハ様式第十六號種繭證明書再下付(又ハ書換、下付)請求書ヲ差出スヘシ

第二十條 蠶絲業法施行規則第四十五條第一項ニ依リ不越年蠶種ノ臺紙ニ證明印ヲ捺捺ヲ請求セムトスルトキハ様式第十七號不越年蠶種臺紙捺印請求書ニ臺紙及種繭證明書ヲ添付シ之ヲ差出スヘシ

第二十一條 蠶絲業法施行規則第四十六條第二項ニ依リ證明印ノ取消ヲ請求セムトスルトキハ其ノ臺紙ノ數ヲ記載シタル請求書ニ證明印ノ取消ヲ受クヘキ臺紙ヲ添へ所轄蠶業取締所支所又ハ出張所ニ差出スヘシ

第二十二條 蠶絲業法施行規則第四十七條第一項ニ依ル検査ヲ受ケムトスルトキハ様式第十八號不越年特別蠶種検査請求書ニ蠶種及母蛾ヲ添付シ之ヲ差出スヘシ

第二十三條 越年特別蠶種ノ母蛾ノ検査ヲ受ケムトケルトキハ毎年七月一日ヨリ十一月三十日迄ニ様式第十八號越年特別蠶種母蛾検査請求書ニ母蛾ヲ添付シ、越年蠶種ノ産卵後検査ヲ受ケムトスルトキハ様式第十九號越年蠶種産卵後検査請求書ヲ所轄蠶業取締所支所又ハ出張所ニ差出スヘシ但シ越年特別蠶種ノ差出期日ハ之ヲ蠶種製造者ニ通知ス

蠶種製造者前項但書ノ通知ヲ受ケタルトキハ指定ノ期日迄ニ其ノ蠶種ヲ所轄蠶業取締所支所又ハ出張所ニ差出スヘシ

ニ差出スヘシ

第二十四條 蠶絲業法施行規則第五十四條及第五十五條第二項ニ依リ證印ノ押捺ヲ請求セムトスルトキハ
様式第二十號蠶種別變更請求書ヲ所轄蠶業取締所支所又ハ出張所ニ差出スヘシ

第二十五條 蠶業取締所支所又ハ出張所ニ於テ行フヘキ検査終了シタルトキハ其ノ旨ヲ蠶種製造者ニ通知
ス

前項ノ通知アリタルトキハ蠶種製造者ハ遲滞ナク當該蠶業取締所支所又ハ出張所ニ付蠶種ノ返戻ヲ受ク
ヘシ

第二十六條 蠶絲業法施行規則第四十五條第四項ニ依リ合格證印ノ無効ニ屬シタル蠶種ハ官報又ハ公報ヲ
以テ之ヲ公示ス

第二十七條 蠶種製造場所ニ於テ受クヘキ検査ニハ蠶種製造者又ハ其ノ代理人之ニ立會フヘシ

第二十八條 蠶絲業法施行規則第七十五條ノ種繭審査請求書ハ様式第二十一號ニ依リ收繭後ノ検査ヲ了リ
タル後遲滞ナク之ヲ知事ニ差出スヘシ

第二十九條 審査ヲ受ケムトスル種繭ヲ差出スヘキ場所及期日ハ之ヲ告示
ス前項ノ場所及期日ニ差出サル者ハ審査ノ請求ヲ拋棄シタルモノト看做ス

第三十條 種繭ノ審査ヲ終リタルトキハ地方種繭審査會ハ之ヲ蠶種製造者ニ通知ス
前項ノ通知アリタルトキハ蠶種製造者ハ遲滞ナク種繭ヲ差出シタル場所ニ付種繭ノ返戻ヲ受クヘシ

第三十一條 蠶絲業法施行規則第八十一條ニ依リ原蠶種印ノ取消ヲ請求セムトスルトキハ様式第二十二號
原蠶種印取消請求書ニ原蠶種ヲ添ヘ之ヲ所轄蠶業取締所支所又ハ出張所ニ差出スヘシ

第三十二條 蠶絲業法施行規則第八十三條ノ免許願書ヲ差出サムトスル者ハ十一月十五日迄ニ様式第二十
三號ニ依リ之ヲ知事ニ差出スヘシ

第三十三條 蠶種冷藏業者ハ越年蠶種ニ在リテハ冷藏ノ始期二ヶ月間ノ最低温度ヲ二十五度、其ノ終期二

ヶ月間ノ最高温度ヲ四十五度又ハ一ヶ月間ノ最高度ヲ五十度トシ不越年蠶種ニ在リテハ冷藏期間十日以
内ノ場合ニハ最高温度ヲ五十度トシ十五日以内ノ場合ニハ之ヲ四十五度トスルコトヲ得

第三十四條 蠶種冷藏業者ハ蠶種冷藏成績及蠶絲業法施行規則第八十八條第一項ノ届書ヲ様式第二十四號
ニ依リ毎年十二月末日マテニ知事ニ差出スヘシ

第三十五條 蠶絲業法施行規則第九十一條ニ依リ鑑札ノ下付ヲ出願セムトスル者ハ蠶種行商者ニ在リテハ
毎年二月末日迄ニ生繭賣買者ニ在リテハ毎年四月十五日迄ニ様式第二十五號鑑札下付願ヲ知事ニ差出ス
ヘシ出願ノ際現ニ鑑札ヲ有スルトキハ之ヲ前項ノ願書ニ添付スヘシ

蠶種行商者又ハ生繭賣買者死亡シタルトキハ其ノ相續人ヨリ業務ヲ廢止シタルトキハ本人ヨリ之ヲ所轄
蠶業取締所支所又ハ出張所ニ返納スヘシ但シ從業者ノ鑑札不用ニ歸シタルトキハ雇主ヨリ之ヲ返納スヘ
シ

第三十六條 免許ヲ受ケタル蠶種製造者又ハ蠶種冷藏業者ニシテ死亡シタルトキハ其ノ相續人ヨリ、業務
ヲ廢止シ又ハ免許ヲ取消サレタルトキハ本人ヨリ遲滞ナク免許證ヲ返納スヘシ

蠶種製造者又ハ蠶種冷藏業者ノ相續人ニシテ被相續人ノ業務ヲ承繼シタルトキハ免許證ノ書換ヲ請求ス
ヘシ

第三十七條 免許證又ハ鑑札ヲ毀損シ若ハ亡失シタルトキハ所轄蠶業取締所支所又ハ出張所ニ其ノ再下付
ヲ請求スヘシ但シ其ノ毀損シタル場合ニハ其ノ免許證又ハ鑑札ハ之ヲ返納スヘシ

第三十八條 蠶業取締官吏、吏員ノ官職印及蠶業取締所並其ノ支所及出張所印ハ様式第二十六號ニ依ル

第三十九條 毎年八月十五日以後ニ於テ生繭ノ取扱ヲ爲ス者ハ蠶絲業法施行規則第七條、第十四條及第十
五條ノ規定ヲ適用セス

第四十條 第六條、第十一條、第十二條、第十四條第二項、第十七條第一項、第二十七條、第三十五條第
三項又ハ第三十六條第一項ニ違反シタル者ハ五拾圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第四十一條 本令ニ依リ知事ニ差出スヘキ書類ハ所轄蠶業取締所支所又ハ出張所ヲ經由スヘシ

第十四二條 本令ハ蠶絲業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
明治三十八年縣令第一七號蠶病豫防施行手續ハ之ヲ廢止ス

樣式 第一號

蠶種製造場所		(郡市町村字番地)	蠶種製造免許願		住	氏	所	名(名稱)	生	年	月	日
右	管	理	者	(何	某)							
蠶兒飼育場所		(郡市町村字番地)	蠶室ノ數及面積		(何	室	何	坪)				
右	擔	當	者	(何	某)							
蠶具ノ種類及數		(何	外	何	件)							

桑園反別	(何	反	步)									
右收葉量	(何	貫)										
購入契約桑葉量	(何	貫)										
掃立蠶量概定數	(何	冬)										
製造額概定數	(何	枚、何	蛾)									

右許免許相成度此段相類候也

年 月 日 右 氏 名(名稱) 印

知事宛

備考

- 一、蠶種製造者又ハ管理者ノ履歷書、蠶絲業法施行規則第三條第一項第三號ニ關スル證明書及法人ニアリテハ定款ヲ添付シ尙蠶具ノ調書ヲ添付スヘシ
- 二、蠶種製造場所所在地ト蠶種製造用蠶兒ノ飼育所所在地トカ之ヲ管轄スル地方長官ヲ異ニスル場合ニハ關係地方長官連名宛トスヘシ
- 三、桑園及蠶室ノ所在地並其ノ土地臺帳ニ依ル番號ヲ記シタル書面ヲ添付スヘシ
- 四、桑葉ノ購入ノ契約ヲ爲シタルモノアルトキハ其ノ相手方ノ氏名若ハ名稱及住所ヲ記シタル書面ヲ添付スヘシ

蠶絲業法並關係法規 蠶絲業法施行手續

蠶具	筮	何	網
	何	網	筮

右及届出候也
 住業種氏所
 年月日
 知事宛
 名(名稱)印

第五號

掃立届

青蠶兒飼育場所	化性化期名稱	原蠶種製造者氏名	原蠶種製造場所	蠶掃立數	蠶掃立量	月掃立日	記	號
---------	--------	----------	---------	------	------	------	---	---

右及届出候也
 住業種氏所
 年月日
 知事宛
 名(名稱)印

第六號

蠶兒讓渡許可申請書

記	號	掃立蠶量	掃立月日	蠶	齡	讓渡サムトスル蠶兒ノ數量	同上掃殼量
---	---	------	------	---	---	--------------	-------

右何々事由ニ依リ郡市町村字番地何某へ讓渡致度候間許可相成度此段申請候也
 讓渡人 住業種氏所 名(名稱)印
 讓受人 住業種氏所 名(名稱)印
 何蠶業取締所何支所(何出張所)管下
 蠶業取締所支所(出張所)御中

第七號

蠶兒讓渡(讓受)證明書

住業種氏所 名(名稱)

蠶業法並關係法規 蠶絲業法施行手續

- 一、原蠶種製造者及原蠶種製造場所
 - 二、化性化期及名稱
 - 三、掃立月日及記號
 - 四、掃立蛾數掃立蠶量及蠶齡(蠶兒ノ頭數、推算蠶量及蠶齡)
- 右ノ内蠶兒何頭此ノ推算蠶量何及之ニ對スル掃殺ヲ都市町村字番地何某ニ讓渡ス(右蠶兒及之ニ對スル掃殺ハ都市町村字番地何某ヨリ讓受ク)

右 證 明 ス
年 月 日
蠶業取締所支所(出張所) 印

備考 全部讓渡ノ場合ニ於テハ本様式中右以下ノ文字ヲ適宜變更記載ス

第八號

項 目	變 更 ノ 文 字	蠶 種 ノ 枚 數
特 別 蠶 種		
普 通 蠶 種		

右何々事由ニ依リ變更致度候間許可相成度此段相願候也

年 月 日
知 事 宛
住 業 種 氏 所
名 (名 稱) 印

第九號

蠶兒飼育場所 記 號	上 簇 月 日	種繭選別豫定月日

右 及 届 出 候 也
年 月 日
住 業 種 氏 所
名 (名 稱) 印
蠶業取締所支所(出張所)御中

第十號

記 號
收 繭 調 書
記 號

掃立蠶數	
掃立蠶量	
對蠶量一匁收繭樹量	
收繭總樹量	
種繭樹量	
選除繭樹量	
同功繭樹量	
繭層片薄不整繭等樹量	
上簇月日	
發蛾豫定月日	
特別蠶種製造豫定額	
普通蠶種製造豫定額	

右之通相違無之候也

年月日

住業種氏所

名(名稱)印

蠶業取締所支所(出張所)御中

備考 蠶絲業法施行規則第三十七條但書ニ依リ搬出ノ許可ヲ受ケタルトキハ其樹量ヲ各項目欄ノ一側ニ朱書スヘシ

第十一號

搬出許可願

品名	(記號)	數	量	搬出先

右何々事由ニ依リ搬出致度候間許可相成度此段相願候也

年月日

住業種氏所

名(名稱)印

知事宛

第十二號

搬出許可證

住業種氏所	名(名稱)
-------	-------

一、掃殺、繭又ハ出殺繭
二、數 量

蠶絲業法並關係法規 蠶絲業法施行手續

- 三、搬出先
- 四、搬出ノ期間アルトキハ其ノ期間

右搬出ヲ許可ス

蠶業取締所印

備考 繭又ハ出殺繭ニ在リテハ其ノ記號ヲ記載スヘシ

第十三號

掛合蠶種製造許可願

雌蛾

- 一、原蠶種製造者及原蠶種製造場所
- 二、化性、化期及名稱
- 三、掃立月日及記號
- 四、發蛾豫定月日
- 五、豫定蛾數及種繭量

雄蛾 一ヨリ五ニ至ル前ニ同シ

右掛合セ度候間許可相成度此段相願候也

年月日

知事宛

住業種氏所

名(名稱)印

第十四號

蠶種化性(名稱)變更願

- 一、原蠶種製造者及原蠶種製造場所
- 二、化性、化期及名稱
- 三、掃立月日及記號
- 四、掃立蛾數及掃立蠶量
- 五、新ニ付セムトスル化性第何化性(名稱何々)
- 六、理由

右變更致度候間許可相成度此段相願候也

年月日

知事宛

住業種氏所

名(名稱)印

第十五號

蠶種化性(名稱)變更許可證

- 一、化性、化期及名稱
- 二、掃立月日及記號
- 三、掃立蛾數及蠶量

住業種氏所

名(名稱)

四、新ニ付セムトスル化性第何化性(名稱何々)
右變更ヲ許可ス
年月日

蠶業取締所支所(出張所) 印

第十六號

種繭證明書再下付(又ハ書換、下付)請求書

- 一、化性化期及名稱
- 二、記 號
- 三、種繭量
- 四、一升ノ顆數
- 五、發蛾歩合

右何々事由ニ由リ種繭證明書再下付(又ハ書換、下付)相成度此段及請求候也

年月日

住業種氏所

名(名稱) 印

蠶業取締所支所(出張所)御中

備考

- 一、書換ヲ請求セムトスル場合ニハ單ニ記號及種繭證明書ノ番號ノミナ記載スルヲ以テ足ル
- 二、書換及下付ノ場合ニ於テハ讓渡スヘキ、又ハ讓受クヘキ種繭ノ樹量ヲ記載シ尙讓受人蠶種製造者ナルトキハ讓渡人及讓受人連署シテ請求スルコトヲ要ス

第十七號

不越年蠶種臺紙捺印請求書

種繭證明書記號番號	蠶種製遺額	發蛾豫定月日
記號番號	特別蠶種普通蠶種	

右及請求候也

年月日

住業種氏所

名(名稱) 印

蠶業取締所支所(出張所)御中

第十八號

不越年特別蠶種母蛾検査(越年特別蠶種母蛾検査)請求書

化性	化期	名稱	種繭證明書記號番號	特別蠶種	蠶種
			記號番號	枚數	蛾種數

右 及 請 求 候 也

年 月 日

住 業 種 民 所

名 (名稱) 印

知 事 宛

第二十二號

原蠶種印取消請求書

化	性	化	期	名	稱	取消請求枚數

右 及 請 求 候 也

年 月 日

住 業 種 氏 所

名 (名稱) 印

蠶業取締所支所(出張所)御中

第二十三號

蠶種冷藏業免許願

冷 藏 場 所 所 在 地	名 稱	風 穴 (冰室又ハ冷藏装置)ノ構造	容 積	蠶 種 ノ 數 量	冷 藏 ノ 始 期 及 終 期 ノ 豫 定 月 日

住 氏 所 生 年 月 日 名 (名稱)

右 免 許 相 成 度 別 紙 ヲ 添 付 シ 此 段 相 願 候 也

年 月 日 右 氏 名 (名稱) 印

知 事 宛

備 考

添付書類左ノ如シ

蠶絲業法並關係法規

蠶絲業法施行手續

蠶絲業法並關係法規 蠶絲業法施行手續

- 一、管理者ヲ置キタルトキハ其ノ氏名住所及履歴ノ要領
- 二、風穴氷室又ハ冷蔵装置ノ圖面
- 三、前期ノ冷蔵期間ニ於ケル溫度及濕度ノ調査書

第二十四號

蠶種冷蔵成績及冷蔵溫度届

地方別	委託者數	冷蔵數量	冷蔵期間	主ナル蠶種類	備考	二、冷蔵溫度		
						月	日	度
						最	高	最
								低
								備考

右及届出候也
知事宛

住業種氏所

名(名稱)印

備考 風穴又ハ氷室ヲ用ヅルモノニ在リテハ最高、最低ノ區別ヲ要セス

第二十五號

鑑札下付願

蠶種行商(生繭賣買)ヲナサムトスル地域	鑑札ヲ携帯スヘキモノ、氏名及生年月日
右相願候也	住業種氏所
年月日	名(名稱)印
知事宛	

第二十六號

静岡縣技師(技手) 何某印
技師ハ方七分
技手ハ方六分
肉色朱

静岡縣蠶業取締吏員何某印
方六分
肉色朱

何蠶業取締所(出張所) 何某印
方八分
肉色朱

◎蠶絲業法並關係法規 蠶絲業法施行手續

蠶病豫防心得

明治四十四年十二月六日
農商務省告示第五百七十一號

第一條 蠶絲法施行規則第十一條ニ依リ蠶蛆若ハ其ノ蛹ヲ壓殺、熱殺又ハ水殺スル方法左ノ如シ

- 一、壓殺ハ形體ヲ破壞スルニ至ルヲ以テ度トス
- 二、熱殺ハ左記ノ方法ニ一ヲ選ムヘシ

一、熱湯中ニ浸漬スルコト

二、華氏二百十二度以上ノ蒸汽ニ接觸セシムルコト

三、華氏百六十度以上ノ乾熱ニ十分間以上接觸セシメ又ハ燒棄スルコト

三、水殺ハ容器ニ滿タシタル水液中ニ蠶蛆ハ七十時間以上其ノ蛹ハ百二十時間以上浸漬スヘシ

第二條 蠶絲業法施行規則第十二條ニ依ル蠶兒、蠶蛹、蠶蛾又ハ其ノ死體及死籠繭又ハ薄皮繭ノ處理方法

左ノ如シ

一、「フオルマリン」ヲ用井ル場合ニ在リテハ其ノ稀釋液(百分中蟻酸)「アルデヒド」二分一以上ヲ含有シ

液温華氏七十五度以上ノモノニ投入シ六十時間以上之ヲ放置スヘシ

二、石灰水ニ用井ル場合ニ在リテハ生石灰一分ニ水九分以内ヲ加ヘタルモノニ投入シ百十五時間以上之

ヲ放置スヘシ

三、熱湯ヲ用井ル場合ニ在リテハ其ノ中ニ一時間以上浸漬シ若ハ五分間以上煮沸ヲ繼續スヘシ

四、乾燥ヲ行フ場合ニ在リテハ華氏百六十度以下ノ火熱又ハ蒸汽熱ヲ用井生繭百匁ヲ四十匁以内ニ至ラ

シムヘシ

第三條 蠶絲業法施行規則第十三條ノ蠶病ノ蔓延ノ虞アル場合トハ病勢猖獗ニシテ蠶兒ノ過半病蠶トナリ

タル場合ヲ謂フ

第四條 蠶絲業法施行規則第十四條第二項ノ蠶蛆及其ノ蛹ノ散逸ヲ防クニ足ルヘキ容器トハ密閉シ得ヘキ

モノ又ハ密閉セサル箱籠等ニシテ深サ二寸以上ヲ有スルモノヲ謂フ但シ密閉セサル容器ノ縁ニ繭ノ接觸
スル場合ニ於テハ其ノ繭ノ表面ヨリ二寸以上保タシムヘシ

蠶絲業法施行規則第十四條第四項ノ塵芥ノ處理方法ハ之ヲ燒棄シ又ハ容器ニ滿タシタル水液中ニ百二十
時間以上浸漬スヘシ

第五條 蠶絲業法施行規則第十八條ニ依ル蛾ノ乾燥ハ華氏百六十度以上ノ火熱又ハ蒸汽熱ニ三時間以上之
ヲ接觸セシムヘシ、蛾ヲ熱湯「フオルマリン」若ハ石灰水中ニ投入セムトスルトキハ第二條第一號乃至第
三號ニ準スヘシ

第六條 蠶絲業法施行規則第十九條ニ依ル蠶室、蠶具ノ消毒方法左ノ如シ

一、「フオルマリン」撒布消毒法

一、蠶室ヲ消毒スルニハ瓦斯ノ漏洩ヲ防ク爲其ノ周圍ヲ密閉シ消毒中華氏七十五度以上ノ温度ヲ保タ
シムヘシ蠶室ノ内面百平方尺ニ對シ「フオルマリン」稀釋液(百分中蟻酸)「アルデヒド」一分以上ヲ
含有スルモノ)四百二十匁(二合二勺一才)ヲ撒布スヘシ但シ充分ニ密閉シ難キ室、撒布面ノ粗雜
ナル室又ハ室内温度ヲ七十五度ニ達セシメ難キ場合ニ於テハ「フオルマリン」撒布ノ量ヲ適宜増量
スヘシ

「フオルマリン」ヲ撒布スルニハ噴霧器ヲ用ヒ天井ヨリ周圍ニ及ホシ最後床板ニ至リ撒布後尙十五
間以上之ヲ密閉スルヲ要ス

二、蠶具ヲ消毒スルニハ華氏七十五度以上ノ室内ニ於テ之ヲ行フヘシ「フオルマリン」稀釋液(百分中
蟻酸)「アルデヒド」二分一以上ヲ含有スルモノ)ヲ蠶具ニ撒布スルニハ蠶網蠶筵及蠶箔ノ類ニ在リ
テハ一枚毎ニ、蠶架ノ類ニ在リテハ一箇毎ニ表裏全面ノ潤フ程度ニ之ヲ撒布シ順次堆積シテ相當
ノ高サニ至ラハ瓦斯ノ漏洩ヲ防ク爲菰、筵等ヲ以テ周圍ヲ覆ヒ十五時間以上之ヲ放置スヘシ

二、蒸汽消毒法

桶箱ニ蠶具ヲ容レ之ニ蒸気ヲ通シ華氏二百十二度ニ達シタル後尙ホ三十分間以上同温度ヲ保タシムヘシ

三、蟻酸「アルデヒド」瓦斯消毒法

蠶具ノ消毒ハ完全ニ密閉シ得ヘキ華氏七十五度ヲ保テル室内ニ於テ之ヲ行フヘシ
蠶具ヲ配置スルニハ間隔ノ保タシムヘシ但シ蠶籠ニ在リテハ皆川筵四枚ヲ以テ限度トシ堆積スルコトヲ得厚筵一枚又ハ蠶綱五枚ハ皆川筵二枚ニ相富スルヒノト看做ス消毒室ノ内面千立方尺ニ對シ「フオルマリソ」蒸發器又ハ其ノ他ノ器具ヲ以テ蟻酸「アルデヒド」瓦斯ヲ左ノ割合ニ依テ發散セシメ發散後尙ホ六時間以上之ヲ密閉スヘシ

蠶箔及蠶籠（皆川筵）

蟻酸「アルデヒド」瓦斯量

- 百枚以下 一一五
- 二百枚以下 一三〇
- 三百枚以下 一四五
- 四百枚以下 一六〇
- 五百枚以下 一八〇
- 六百枚以下 一九〇
- 七百枚以下 二〇〇
- 八百枚以下 二二〇

蠶絲業施行事務取扱規程

明治四十四年十二月十六日
農商務省訓令第十九號

第一號 蠶業取締所ニハ様式第一條ニ準シ蠶種製造業者臺帳様式第二號ニ準シ蠶種冷藏業者臺帳、様式第三號ニ準シ生繭取扱者臺帳、様式第四號ニ準シ検査臺帳、様式第五號ニ準シ鑑札下付臺帳ヲ備ヘ置クヘシ

種繭審査會ヲ設ケ種繭ノ審査ヲ爲ス道府縣ニ在リテハ様式第六號ニ準シ原蠶種製造臺帳ヲ備ヘ置クヘシ

第二條 當該官吏吏員ハ蠶種製造者カ蠶室蠶具ノ消毒ヲ施行スルトキ、蠶兒ノ掃立ヲ終リタルトキ、蠶兒ノ五齡期ニ達シタルトキ又ハ種繭ヨリ蛾ノ發出シタルトキ蠶種製造用蠶兒ノ飼育場所又ハ蠶種製造場所ヲ臨檢シ生繭取扱者カ生繭ノ取扱ニ從事スルトキハ其ノ取扱場所ヲ臨檢スヘシ

當該官吏吏員必要ト認ムルトキハ養蠶者カ蠶兒ヲ飼育スル場所ニ臨檢スヘシ

第三條 當該官吏吏員臨檢及検査ヲ爲シタルトキハ蠶業取締所ヨリ交付セラレタル手簿ニ其ノ要領ヲ記入シ所長又ハ主事閱覽ヲ受クヘシ

第四條 當該官吏吏員床下ニ蠶蛆若ハ其ノ蛹潜伏ノ虞アルコトヲ認メタルトキハ床下掃除ヲ命ジ其ノ塵芥ノ處理ヲ爲サシムヘシ但シ床下ノ周圍ニ蠶蛆蠅ノ飛散ヲ防クニ足ル完全ナル設備ヲ有スルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五條 蠶絲業法施行規則第二十一條第三項及第四十四條第三項ニ依ル通知書ニハ其ノ以前ニ於ケル經過ヲ附記スヘシ

同一蠶種製造者ノ蠶兒又ハ種繭カ他ノ蠶業取締所ノ管轄内ニ移動シタルトキハ其ノ以前ニ於ケル經過ヲ遲滞ナク通知スヘシ

第六條 繭量定ノ方法ハ樹ノ線ヨリ量ラムトスル繭ノ短徑ノ半ハニ相當セル高サニ繭ヲ納ルルヲ標準トスヘシ
一升ノ顆數ヲ定ムル方法ハ三升ノ繭ニ付其ノ顆數ヲ計算シテ之ヲ三分スヘシ
發蛾歩合ヲ定ムル方法ハ種繭百顆ヲ切開シ健全ナル蛹ノ數ヲ算シ之ヲ定ムヘシ
種繭ヲ以テ蠶種製造豫定額ヲ定ムル方法ハ特別蠶種ニ在リテハ發蛾歩合ニ依リ一升ノ發蛾豫定數ヲ算シ其ノ半數ヲ種繭樹量ニ乗シ之ヲ定メ普通蠶種ニ在リテハ總發蛾豫定數ノ半數ヲ蠶種一枚ノ産卵蛾數ニテ

地方種繭審查會ノ委員ノ定數ハ農商務大臣ノ認可ヲ得テ地方長官之ヲ定ム

第五條 委員ハ官吏、公吏及蠶絲業ニ關スル學識經驗アル者ノ中ヨリ中央種繭審查會ニ在リテハ農商務大臣、地方種繭審查會ニ在リテハ地方長官之ヲ命ス

第六條 委員ノ任期ハ官吏又ハ公吏ニシテ委員タルモノヲ除クノ外三年トス

第七條 種繭審查會ニ會長及副會長ヲ置キ中央種繭審查會ニ在リテハ農商務大臣、地方種繭審查會ニ在リテハ地方長官其ノ委員ノ中ヨリ之ヲ命ス

第八條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル

第九條 種繭審查會ニ幹事及書記ヲ置キ中央種繭審查會ニ在リテハ農商務大臣、地方種繭審查會ニ在リテハ地方長官之ヲ命ス

幹事ハ一人トス官吏又ハ公吏ノ中ヨリ之ヲ命ス

第十條 幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス

第十一條 地方種繭審查會ニ於テハ審查ニ關スル事務ヲ補助セシムル爲メ補助員ヲ置クコトヲ得

第十二條 種繭審查會ニ於ケル原蠶種ノ選定ニ關スル會議ハ中央種繭審查會ニ在リテハ農商務大臣地方種繭審查會ニ在リテハ地方長官ノ提出シタル議案ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第十三條 地方種繭審查會ノ議ニ付スヘキ事項ニ付二以上ノ道府縣ニ涉リ協定ヲ爲スノ必要アルトキハ關係道府縣地方種繭審查會ハ聯合シテ開會スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ決議ヲ以テ各地方種繭審查會ノ決議ト看做ス

前項ノ聯合會議ノ會議方法ハ關係地方長官ノ協議ヲ以テ之ヲ定ム

第十四條 地方種繭審查會ニ於ケル種繭ノ審查ハ三人以上ノ委員ヲ以テ之ヲ行フ

種繭ノ審查ヲ行フ場所及期日ハ地方長官審查ノ日ヨリ少クトモ十日前ニ之ヲ告示スヘシ

第十五條 委員ハ自己、配偶者四親等内ノ親族、戶主又ハ家族ノ請求シタル種繭ノ審查ニ參與スルコトヲ得ス委員種繭ノ審查ヲ請求シタル者ノ法代理人タルトキ亦同シ

第十六條 中央種繭審查會ノ會議ハ農商務大臣、地方種繭審查會ノ會議ノ地方長官之ヲ召集ス

第十七條 種繭審查會ノ會議ハ委員定數二分ノ一以上出席スルニ非サレハ之ヲ開クコトヲ得ス

第十八條 種繭審查會ノ會議ノ議事ハ出席委員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第十九條 會長ハ閉會後遲滞ナク會議ノ顛末及決議ノ要領ヲ中央種繭審查會ニ在リテハ農商務大臣ニ、地方種繭審查會ニ在リテハ地方長官ニ報告スヘシ

第二十條 地方種繭審查會ノ會長ハ種繭ノ審查成績ヲ地方長官ノ指定スル期日毎ニ報告スヘシ

第二十一條 地方長官ハ地方種繭審查會ノ種繭審查ニ關スル規則ヲ定メ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第二十二條 地方長官ハ地方種繭審查會ノ決議又ハ審查ノ要領及第二十條ノ規定ニ依リ決議又ハ審查ノ取消ヲ爲シタルトキハ其ノ顛末ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

本令ハ蠶絲業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

蠶業取締所規程

第一條 地方長官蠶業取締所ヲ設置セムトスルトキハ本令ノ定ムル所ニ依ル

明治四十四年十月十六日
農務省令第三十一號

第二條 蠶業取締所又ハ其ノ支所ハ道府縣内須要ノ地ニ之ヲ設ク但シ必要アル時期ニ限り出張所ヲ設クルコトヲ得

蠶業取締所支所及出張所ノ管轄區域及開閉月日ハ地方長官之ヲ定ム

第三條 蠶業取締所ニ所長支所ニ主事ヲ置ク

所長ハ技師又ハ技手ヲ以テ之ニ充ツ但シ農業技師ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ妨ケス

所長ハ地方長官ノ命ヲ承ケ所務ヲ掌理シ主事ハ所長ノ指揮ヲ承ケ事務ヲ分掌ス

第四條 地方長官ハ蠶業取締所處務規程ヲ定メ之ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

第五條 地方長官ハ蠶業取締所支所又ハ出張所ノ位置管轄區域開閉月日所長又ハ主事ノ命免ヲ公示シ且農

商務大臣ニ報告スヘシ

附 則

本令ハ蠶絲業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

自家用蠶種ヲ製造シ得ヘキ地方

明治四十四年十一月二十七日
農商務省告示第五百五十七號

蠶絲業法施行規則第五十八條第一項ニ依リ自家用ノ爲蠶種ヲ製造シ其ノ蠶兒ヲ飼育シ得ヘキ地方ヲ左ノ通指定ス

青森縣	岐阜縣	北海道	石狩國	厚田郡	濱益郡	後志國	島牧郡	古宇郡	積丹郡	天鹽國
西津輕郡	北津輕郡	上川郡	中川郡	天鹽郡	膽振國	千歲郡	白老郡	幌別郡	勇拂郡	
		十勝國	河東郡	上川郡	中川郡	十勝郡	廣尾郡	北見國	宗谷郡	
		枝幸郡	網走郡	斜里郡	常呂郡	紋別郡	日高國	一	圓	

明治四十五年六月三日印刷
明治四十五年六月八日發行

静岡縣蠶業取締所

印刷者 野崎重兵衛

静岡市吳服町二丁目三十七番地

印刷所 池鶴堂印刷所

静岡市兩替町二丁目一番地

342

~~154~~ 630.2

5494

終